







府中市市民協働推進行動計画(平成30年度～令和3年度) 進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画																				回答担当							
					R1					R2					R3					R4												
					進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考								
17	市民協働推進員の設置	協働推進課	全課	協働に係る先導事例等の情報を収集するとともに、各活動団体とのコーディネート役を担えるよう、各課に市民協働推進員を配置するとともに、各課において協働の取組を更に推進できるよう、効果的な活用を検討・実施します。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	各課に市民協働推進員を設置し、職員研修への出席のほか、市民協働実感イベント(府中若者会議)や市民協働のまちづくりカフェへの出席を通して、協働に必要な対話の大切さを学ぶとともに、個人・職員・事業として理解を深めた。また、協働事業提案制度などについて講義を行った。	平成29年度の職員研修の講師と協議し、負担感の軽減を図るとともに、主任以上という対象の見直しを図る。			計画通りに進んでいる	各課に市民協働推進員を設置し、職員研修への出席のほか、市民協働実感イベント(府中若者会議)や市民協働のまちづくりカフェへの出席を通して、協働に必要な対話の大切さを学ぶとともに、個人・職員・事業として理解を深めた。また、協働事業提案制度などについて講義を行った。	各課における協働をより一層推進するため、市民協働推進員の役割を十分に理解いただくとともに、協働事業提案制度などについて講義を行った。	市民協働推進員研修にて、オリエンテーションとして市民協働推進員募集制度などについて講義を行う。	計画通りに進んでいる	各課に市民協働推進員を設置し、職員研修への出席のほか、市民協働実感イベント(府中若者会議)や市民協働のまちづくりカフェへの出席を通して、協働に必要な対話の大切さを学ぶとともに、個人・職員・事業として理解を深めた。また、研修のオリエンテーションで市民協働推進員の役割と協働事業提案制度などについて講義を行った。	課内・係内で研修内容や学びを共有してもらうよう促す。	計画通りに進んでいる	各課に市民協働推進員を設置し、職員研修への出席のほか、市民協働実感イベント(府中若者会議)や市民協働のまちづくりカフェへの出席を通して、協働に必要な対話の大切さを学ぶとともに、個人・職員・事業として理解を深めた。また、研修のオリエンテーションで市民協働推進員の役割と協働事業提案制度などについて講義を行った。	課内・係内で研修内容や学びを共有してもらうよう促す。			協働推進係							
推進方策5 市民活動拠点施設等の有効活用																																
目標(1)協働の拠点としての市民活動拠点施設の活用																																
18	市民活動拠点施設の運営に係る市民意見の反映	協働推進課		より使いやすい施設とするために、市民、各活動団体等の利用者を中心に運営協議会を設置し、意見を反映します。	検討	検討	検討						計画通りに進んでいる	利用者アンケートなどを実施し、市民意見を施設運営へ反映させる仕組み作りを開始した。また、運営協議会の設置について検討を行った。															市民活動センター			
目標(2)既存公共施設の活用方策の検討																																
19	協働の推進のための場としての既存公共施設に係る活用方策の検討	建築施設課	各公共施設所管課	公共施設マネジメントの考えに基づき、既存公共施設の在り方や機能の見直しに当たっては、市民協働機能も含めた市民ニーズを捉えた活用ができるよう、各施設所管課と検討を進めます。	継続実施	継続実施	検討結果とりまとめ	計画通り	協働の推進のための場としての活用も含め、既存の公共施設の活用を第一とする。第1次府中市公共施設マネジメント推進プランに定める各施設の利用の進捗状況の把握と取組の推進を図った。	公共施設マネジメントを推進している中であり、その解決が協働の推進のための場としての活用に向けた課題解決につながるものとして認識している。	平成29年度がプランの最終年度となるため目標達成に向けて動き出している。第1次推進プランの進捗を踏まえ、新たなプランを策定する。			計画通り	協働の推進のための場としての活用も含め、既存の公共施設の活用を第一とする。第1次府中市公共施設マネジメント推進プランに定める各施設の利用の進捗状況の把握と取組の推進を図った。	既存公共施設について、老朽化の進行状況や市の財政状況も踏まえつつ、協働の推進等への活用を図る。また、その声も施設運営へ反映させるための仕組みの構築を検討する。	第2次府中市公共施設マネジメント推進プランに基づき、着実に取組が推進されるよう、適切な進捗管理を行う。	第2次府中市公共施設マネジメント推進プランに基づき、着実に取組が推進されるよう、適切な進捗管理を行う。	第2次府中市公共施設マネジメント推進プランに基づき、着実に取組が推進されるよう、適切な進捗管理を行う。	第2次府中市公共施設マネジメント推進プランに基づき、着実に取組が推進されるよう、適切な進捗管理を行う。	第2次府中市公共施設マネジメント推進プランに基づき、着実に取組が推進されるよう、適切な進捗管理を行う。	第2次府中市公共施設マネジメント推進プランに基づき、着実に取組が推進されるよう、適切な進捗管理を行う。	第2次府中市公共施設マネジメント推進プランに基づき、着実に取組が推進されるよう、適切な進捗管理を行う。	第2次府中市公共施設マネジメント推進プランに基づき、着実に取組が推進されるよう、適切な進捗管理を行う。			建築施設課					
目標(3)新庁舎における協働を支える場の整備																																
20	新庁舎における協働を支える場の整備	新庁舎建設推進室	協働推進課	府中市庁舎建設基本計画の考え方を踏まえながら、新庁舎建設の設計において計画した、市民との協働を支える場を整備します。	継続検討	継続検討	継続検討	計画通り	基本設計において、新庁舎は、主たる庁舎機能を担う「おもや」のほか、庁舎機能を補完し、市民協働を支える「はなれ」を配置し、市民と市の協働のための市民協働ラウンジなどを計画した。	市民協働を支える「はなれ」の機能として、他公共施設の機能を考慮しながら具体的な運用方法等を検討する必要がある。	現在進めている実施設計において、より具体的な運用方法を視野に入れながらハード面の整備を検討する。			計画通り	実施設計において、市民と市の協働のための「市民協働ラウンジ」の具体的な設備等を定めた。	市民協働ラウンジの具体的な運用方法についてより細かく決めていく必要がある。	ハード面の整備として設計は完了したため、今後は、工事に向けて市民協働のあり方等の動向に注視していく。	全体工程に遅れが生じ、平成33年度着工、平成35年度におもや完成、平成39年度にはなれ完成となる予定。	広報特別号の発行により、「市民協働ラウンジ」を含めた実施設計の内容を周知した。	「はなれ」完成時期を踏まえ、市民協働ラウンジの具体的な運用方法について定めていく必要がある。	市民協働のあり方等の動向に注視していく。	令和元年5月に見直しを行い、新庁舎建設工事の着工時期を令和3年5月とし、しゅん工を令和8年1月に予定している。	計画通り	府中駅北第2庁舎へ先行移転した市民協働推進室において、新庁舎で想定しているオフィスレイアウト及び備品の試行実施を行った。	市民協働ラウンジの備品の選定を進めていくうえで、試行実施の結果を反映するとともに、市民協働のあり方等の動向に注視しながら、具体的な運用方法について定めていく必要がある。			新庁舎建設推進室				
推進方策6 市民自身が市民の活動を支える環境づくり																																
目標(1)市民が市民の活動を資金面で支援する仕組みの検討																																
21	寄附をしやすい環境の整備	政策課	全課	市が推進する市民協働の取組に賛同いただき、資金面で支援いただける方からの善意を汲み取りやすくするため、寄附に係る窓口の一本化や手続の簡素化を図り、寄附をしやすい環境づくりに取り組みます。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通り	寄附手続の簡素化を図るため、平成28年9月にインターネット上の専用ポータルサイトから寄附手続が行えるよう整備した。	返礼品の送付を始めたばかりというところもあり、本市の魅力やPRする返礼品の種類が少ない。	市から市内企業に積極的な声かけを行うとともに、説明会等を実施し、返礼品の拡大・拡充に努める。			計画通り	ふるさと納税を通して本市の魅力やPRするため、市内事業者向けにふるさと納税の返礼品掲載に関する説明会を実施するなど、返礼品の拡大・拡充を図った。また、市内事業者だけでなく、「ポータルサイト」や「府中市美術館」といった施設を活用した体験型の返礼品も新たに追加した。	寄附金額を一定以上保つためには、定期的な返礼品のリニューアルが必要となるため、返礼品の拡大・拡充を図る。また、第6次府中市総合計画の基本目標で定める4分野に係る事業の財源として活用する基金を創設し、寄附金の積立も可能とする。												政策課				
目標(2)コミュニティビジネス実施団体の育成及び支援																																
22	コミュニティビジネス実施団体の育成及び支援	協働推進課		コミュニティビジネスを実施する市民活動団体や企業等の育成及び支援に取り組む。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通り	前年度に引き続きコミュニティビジネス啓発講座やコミュニティビジネスガイダンス、個別相談の開催を通して、コミュニティビジネス実施団体の育成・支援を行った。	現役世代の活動団体が増えてきているため、講座や相談の曜日設定を検討する必要がある。	指定管理者との協議のもと、コミュニティビジネスの育成・支援に資する施策を実施する。			計画通り	引き続きコミュニティビジネスガイダンス、個別相談の開催を通して、コミュニティビジネス実施団体の育成・支援を行う。また、指定管理者との協議のもと、個別相談の曜日や時間帯を変更した。	コミュニティビジネスガイダンス・相談の利用者数が増加していないため、周知方法や内容を見直し、より市民利用しやすいとする。	講座や相談を周知するためのチラシの変更や内容の見直しを行い、利用者の増加や質の向上を目指し、コミュニティビジネスの育成・支援を進める。	平成29年度より指定管理者業務に移管	計画通り	SB/CB個別相談、コミュニティビジネス入門講座(3クール)の開催を通して、SB/CBの起業支援コーナーの利用率の向上に注力し、利用者の交流会を実施するなど、ビジネスチャンス獲得のきっかけの場を提供した。	地域内の金融機関、商工会議所・経済視察課との連携体制づくり。起業支援コーナーの本業のベースのキャパシティが少ない。	地域内の金融機関、商工会議所・経済視察課との連携体制づくり。起業支援コーナーの本業のベースのキャパシティが少ない。	SB/CBの起業支援コーナーの利用率の向上に注力し、利用者の交流会を実施するなど、ビジネスチャンス獲得のきっかけの場を提供した。	地域内の金融機関、商工会議所・経済視察課との連携体制づくり。起業支援コーナーの本業のベースのキャパシティが少ない。	個別相談の利用をよりやすくなるための、たましんの月1回の対応以外にも柔軟に対応できるように、アドバイザーの確保も行う。また、たましんの月1回の対応以外にも柔軟に対応できるように、アドバイザーの確保も行う。また、たましんの月1回の対応以外にも柔軟に対応できるように、アドバイザーの確保も行う。	計画通り	SB/CB個別相談の開催、起業支援コーナーの利用率の向上に注力し、利用者の交流会を実施するなど、ビジネスチャンス獲得のきっかけの場を提供した。	地域内の金融機関、商工会議所・経済視察課との連携体制づくり。起業支援コーナーの本業のベースのキャパシティが少ない。	個別相談の利用をよりやすくなるための、たましんの月1回の対応以外にも柔軟に対応できるように、アドバイザーの確保も行う。また、たましんの月1回の対応以外にも柔軟に対応できるように、アドバイザーの確保も行う。また、たましんの月1回の対応以外にも柔軟に対応できるように、アドバイザーの確保も行う。			市民活動センター

府中市市民協働推進行動計画(平成30年度～令和3年度) 進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画				進捗状況																回答担当
					R1	R2	R3	H28				H29				H30				R1					
								進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績		課題	次年度へ向けた取組	備考		
推進方策7 協働事業提案制度の整備																									
目標(1) 協働事業提案制度の充実																									
23	市民提案型協働事業提案制度の充実	協働推進課	全課	市民が自由な発想に基づき、協働事業の実施を市に対して提案をできる制度について、複数年度で実施できるよう検討し、充実を図ります。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	市民提案型協働事業進め方ガイドブックを作成し、提案団体及び市担当課がスムーズに事業を実施できるよう改善を図った。 【平成28年度提案事業数】4事業 【平成28年度実施事業数】2事業	事業の方向性が固まっていなかったが、提案書の提出が改善され、結果三者打合せで時間がかかってしまった。	事前相談期間を設けることで、提案書の提出が改善され、結果三者打合せで時間がかかってしまった。	平成31年度提案募集(平成30年度実施)から事前相談業務のみ指定管理者に移行することで、市民提案型市民活動支援事業助成金や民間の助成金につながるなど、より一層効果的・効率的な事業となるよう検討を進める。	事前相談期間を設けることで提案には至らなかったが、相談件数の増加につながった。 事前相談課9事業 【平成29年度提案事業数】4事業 【平成29年度実施事業数】2事業	協働事業提案制度は単年度事業であるため、市の予算要求のスケジュール上、次年度以降担当課には結び付きにくい。	平成31年度提案募集(平成30年度実施)から複数年度での提案が可能となるよう関係課と調整を行う。また、制度への理解が不十分であるため市民協働推進員研修や係長職対象研修で周知を行う。	平成31年度提案募集(平成30年度実施)から複数年度での提案が可能となったことから、より一層制度の周知と市内理解を推進する必要がある。また、事前相談業務を指定管理者に移行したことにより、指定管理者の制度への十分な理解が必要である。	平成31年度提案募集(平成30年度実施)から複数年度での提案が可能となったことから、より一層制度の周知と市内理解を推進する必要がある。また、事前相談業務を指定管理者に移行したことにより、指定管理者の制度への十分な理解が必要である。	市内へのより一層の制度周知を図るため、市民協働推進員研修や管理監督職対象研修で周知を行う。	【令和元年度提案事業数】3事業 【令和元年度実施事業数】5事業	市内へのより一層の制度周知を図るため、市民協働推進員研修や管理監督職対象研修で周知を行う。					
	行政提案型協働事業提案制度の充実	協働推進課	全課	市が定めた地域課題に係るテーマに基づき、協働事業の実施を市に対して提案をできる制度について、より活用しやすい制度となるよう検討し、充実を図ります。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	制度整備を行うとともに、市民提案型協働事業と併せて事業の周知を実施した。	各課からの提案が少ない傾向にあるため、テーマの募集時期等を含め、改善を図る必要がある。	募集時期の見直しから着手し、改善が見られない場合、他の取組と運動させるなどの検討を行う。	募集時期の見直しを行うとともに、協働可能性調査において行政提案型協働事業の活用を呼び掛けるなど、提案数増加のための改善を行った。 【平成29年度提案事業数】3事業 【平成29年度実施事業数】2事業	市内からのテーマ応募が少なく、提案数も減少傾向にある。	募集時期の見直しを行うとともに、協働可能性調査において行政提案型協働事業の活用を呼び掛けるなど、提案数増加のための改善を行った。 【平成29年度提案事業数】3事業 【平成29年度実施事業数】2事業	市民協働可能性調査を促す。また、市民協働推進員研修や今年度から実施する係長職対象研修等で周知する。	募集時期の見直しを行うとともに、協働可能性調査において行政提案型協働事業の活用を促す。また、市民協働推進員研修や今年度から実施する係長職対象研修等で周知する。	市内からのテーマ応募が少なく、提案数も減少傾向にある。	応募の回答様式を見直すとともにテーマ応募時に他市事例の紹介など積極的に活用を促す。	【令和元年度提案事業数】1事業 【令和元年度実施事業数】1事業	市内からのテーマ応募が少なく、提案数も減少傾向にある。					
	様々な主体による協働事業の提案の仕組みの検討	協働推進課	全課	各活動団体が、様々な主体との協働事業の実施を提案できる仕組みについて、検討し、整備します。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	費用等制度設計に課題が生じたため、引き続き検討を進める必要がある。	早期実現のため、引き続き検討を進める。	市民活動センターにおいて、魅力的な活動の発掘と、立ち上げまでもなく、事業実施の経験がない団体の育成を目的に、「プラットフォーム」として事業企画運営で協働する団体等を公募し、その実施に向けて伴走サポートを行った。	市民活動センターが「プラットフォーム」で中間支援組織として提案団体の伴走サポートしていく中で、様々な主体の新たなつながりが生まれている。そのような動向を踏まえて、市においても引き続き検討を行う。	市民活動センターにおいて、魅力的な活動の発掘と、立ち上げまでもなく、事業実施の経験がない団体の育成を目的に、「プラットフォーム」として事業企画運営で協働する団体等を公募し、その実施に向けて伴走サポートを行った。	市民活動センターが「プラットフォーム」で中間支援組織として提案団体の伴走サポートしていく中で、様々な主体の新たなつながりが生まれている。そのような動向を踏まえて、市においても引き続き検討を行う。	市民活動センターにおいて、魅力的な活動の発掘と、立ち上げまでもなく、事業実施の経験がない団体の育成を目的に、「プラットフォーム」として事業企画運営で協働する団体等を公募し、その実施に向けて伴走サポートを行った。	市民活動センターが「プラットフォーム」で中間支援組織として提案団体の伴走サポートしていく中で、様々な主体の新たなつながりが生まれている。そのような動向を踏まえて、市においても引き続き検討を行う。	市民活動センターにおいて、魅力的な活動の発掘と、立ち上げまでもなく、事業実施の経験がない団体の育成を目的に、「プラットフォーム」として事業企画運営で協働する団体等を公募し、その実施に向けて伴走サポートを行った。	市民活動センターが「プラットフォーム」で中間支援組織として提案団体の伴走サポートしていく中で、様々な主体の新たなつながりが生まれている。そのような動向を踏まえて、市においても引き続き検討を行う。							
目標(2) 市の事務事業に係る協働事業化の検討																									
26	市の事務事業に係る協働事業化の推進	協働推進課	全課	市の事務事業の協働の可能性を検討するため、引き続き協働可能性調査を実施します。また、調査結果を活用するとともに、事務事業評価制度や政策会議などを通じ、新たな協働事業の実施に係る提案を促進します。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	各主管部課で実施している全事務事業を協働の視点で見直すことを目的に、「協働可能性調査」を実施した。	協働可能性調査の結果をもとに、見直しの余地がある事業については協働事業評価対象事業とし、協働で実施している事業については「行政提案型協働事業」の制度を活用するよう呼び掛けているが、より積極的に協働の可能性を検討する仕組みが必要である。	引き続き、調査項目の見直しや、より新たな協働事業の実施に係る提案を促進できるように、改善を図っていく。	調査項目の見直しを行い協働で実施していない事業については「行政提案型協働事業」の制度を活用するよう呼び掛けているが、より積極的に協働の可能性を検討する仕組みが必要である。	協働で実施していない事業については「行政提案型協働事業」の制度を活用するよう呼び掛けているが、より積極的に協働の可能性を検討する仕組みが必要である。	引き続き、調査項目の見直しや、より新たな協働事業の実施に係る提案を促進できるように、改善を図っていく。	引き続き、調査項目の見直しや、より新たな協働事業の実施に係る提案を促進できるように、改善を図っていく。	引き続き、調査項目の見直しや、より新たな協働事業の実施に係る提案を促進できるように、改善を図っていく。	引き続き、調査項目の見直しや、より新たな協働事業の実施に係る提案を促進できるように、改善を図っていく。	引き続き、調査項目の見直しや、より新たな協働事業の実施に係る提案を促進できるように、改善を図っていく。	引き続き、調査項目の見直しや、より新たな協働事業の実施に係る提案を促進できるように、改善を図っていく。	引き続き、調査項目の見直しや、より新たな協働事業の実施に係る提案を促進できるように、改善を図っていく。	引き続き、調査項目の見直しや、より新たな協働事業の実施に係る提案を促進できるように、改善を図っていく。				
	推進方策8 協働を推進するための組織的な仕組みづくり																								
	目標(1) 協働事業の相談・提案に係る受付とマッチングに関するルールの整備																								
27	協働事業の相談・提案に係る受付とマッチングに関するルールの周知	協働推進課	全課	市民や各活動団体から、協働事業の実施等について相談や提案を受けられる場合や、協働事業の提案がなされた場合のマッチングの仕組みなど、協働事業に関する手順などを示す庁内のルールについて更なる周知を図ります。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	「提案型協働事業募集要領」及び「提案型協働事業進め方ガイドブック」を作成した。	問合せが多い質問をQ&Aとして掲載するなど、引き続き内容の充実に取り組む。	「提案型協働事業募集要領」の作成にあたり、問合せが多い質問をQ&Aとして掲載するなど、引き続き内容の充実を図った。	提案型協働事業の事前相談業務が市民活動センターに移るため、市民への周知や、市民活動センターへの事前相談の方向性を理解していただく必要がある。	引き続き、問合せが多い質問のQ&Aを更新するほか、市民活動センターと連携しながら制度周知を図る。	引き続き、問合せが多い質問のQ&Aを更新するほか、市民活動センターと連携しながら制度周知を図る。	引き続き、問合せが多い質問のQ&Aを更新するほか、市民活動センターと連携しながら制度周知を図る。	引き続き、問合せが多い質問のQ&Aを更新するほか、市民活動センターと連携しながら制度周知を図る。	引き続き、問合せが多い質問のQ&Aを更新するほか、市民活動センターと連携しながら制度周知を図る。	引き続き、問合せが多い質問のQ&Aを更新するほか、市民活動センターと連携しながら制度周知を図る。	引き続き、問合せが多い質問のQ&Aを更新するほか、市民活動センターと連携しながら制度周知を図る。	引き続き、問合せが多い質問のQ&Aを更新するほか、市民活動センターと連携しながら制度周知を図る。	引き続き、問合せが多い質問のQ&Aを更新するほか、市民活動センターと連携しながら制度周知を図る。				
	目標(2) 協働の推進に資する体制づくり																								
	28	市民協働推進委員会の設置	協働推進課	全課	協働事業の進捗状況等について、連絡調整を行うため、協働事業を実施する関係部署において構成する市民協働推進委員会を設置するとともに、更なる活用を図ります。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】4回	各課において協働を推進できるような働き掛けについて、より意見が得られるよう検討を進める。	継続して当該委員会を設置し、関係部署との連絡調整を行っている。	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】2回	適切な時期に委員会を開催し、より効果的・効率的に情報交換ができれば、情報交換の機会が減っていった。	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】3回	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】1回	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】1回	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】1回	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】1回	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】1回	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】1回	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】1回			
市民協働推進員の設置		協働推進課	全課	協働事業の進捗状況等について、連絡調整を行うため、協働事業を実施する関係部署において構成する市民協働推進委員会を設置するとともに、更なる活用を図ります。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】4回	各課において協働を推進できるような働き掛けについて、より意見が得られるよう検討を進める。	継続して当該委員会を設置し、関係部署との連絡調整を行っている。	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】2回	適切な時期に委員会を開催し、より効果的・効率的に情報交換ができれば、情報交換の機会が減っていった。	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】3回	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】1回	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】1回	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】1回	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】1回	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】1回	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】1回	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】1回				
市民協働推進員の設置		協働推進課	全課	協働事業の進捗状況等について、連絡調整を行うため、協働事業を実施する関係部署において構成する市民協働推進委員会を設置するとともに、更なる活用を図ります。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】4回	各課において協働を推進できるような働き掛けについて、より意見が得られるよう検討を進める。	継続して当該委員会を設置し、関係部署との連絡調整を行っている。	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】2回	適切な時期に委員会を開催し、より効果的・効率的に情報交換ができれば、情報交換の機会が減っていった。	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】3回	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】1回	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】1回	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】1回	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】1回	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】1回	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】1回	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。 【開催回数】1回				

府中市市民協働推進行動計画（平成30年度～令和3年度） 進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画																				回答担当			
					計画					H28					H29					H30								
					R1	R2	R3	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績		課題	次年度へ向けた取組	備考
29	市民協働推進会議の設置	協働推進課		協働の推進に係る取組の進捗状況等について評価・検証を行うとともに、基本方針や市民協働推進行動計画の見直し、条例制定等について調査・研究を行うため、市民や学識経験者等で構成する市民協働推進会議を設置します。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	協働事業の評価を行うとともに、提案型協働事業の選定を実施。 【開催回数】5回	協働事業の評価が、平成29年度については、行動計画の中間見直しと協働の推進に関する条例の可否を含めた検討を行ったため、限られた時間の中で効果的な会議運営が求められる。	スムーズな会議の運営となるよう、資料を事前送付する際に、次回会議の論点のポイントに記載するなど工夫する。			計画通りに進んでいる	協働事業の評価、提案型協働事業の選定、行動計画の中間見直し、協働の推進に関する条例の可否を含めた検討を行った。 【開催回数】5回	協働事業の評価、提案型協働事業の選定、行動計画の中間見直し、協働の推進に関する条例の可否を含めた検討を行った。 【開催回数】5回	ヒアリング及び評価を効果的に行うことができるよう、事前に委員より、効果的な質問事項の調査を行い共有を行う。また、条例の可否を踏まえた検討に当たり、都内の事例を含めスムーズな会議の運営となるよう、資料を事前送付する。			計画通りに進んでいる	協働事業の評価、提案型協働事業の選定を含む検討を行った。 【開催回数】5回	より効果的・効率的にヒアリングが実施できるよう検討する必要がある。	ヒアリング及び評価を効果的に行うことができるよう、実施方法の見直しを検討する。	計画通りに進んでいる	協働事業の評価、提案型協働事業の選定を行った。また評価項目や評価方法の見直しの検討を行った。 【開催回数】3回	ヒアリング及び評価を効果的に行うことができるよう、実施方法の見直しを検討する。 【開催回数】3回	協働推進係	
目標(3)政策形成過程への参画のための公募委員制度の拡充																												
30	附属機関に係る公募市民枠の拡充	政策課		市の施策の検討等を行う際に、広く市民の意見を聞くため、附属機関等を設置する際には、公募委員制度を積極的に採用するとともに、より市民が参画しやすいよう、制度を拡充します。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいない	H28.4.1現在50.0%(前年比0%)	専門的な知識、経験を有する者を委員とする場合や設置期間が長い機関については、改善が困難である。	公募委員が在籍する附属機関等の割合が増加するよう、関係課に働きかけを行っていく。			計画通りに進んでいない	H29.4.1現在46.3%(前年比-3.7%)	専門的な知識、経験を有する者を委員とする場合や設置期間が長い機関については、改善が困難である。	公募委員が在籍する附属機関等の割合が増加するよう、関係課に働きかけを行っていく。			計画通りに進んでいない	H30.4.1現在44.9%(前年比-1.4%)	専門的な知識、経験を有する者を委員とする場合や設置期間が長い機関については、改善が困難である。	公募委員が在籍する附属機関等の割合が増加するよう、関係課に働きかけを行っていく。	計画通りに進んでいない	H31.4.1現在45.1%(前年比+0.2%)	各附属機関等の委員選任に係る調整を適正に行い、公募委員が在籍していない機関については積極的な採用がなされるよう関係課に働きかけていく。	専門的な知識、経験を有する者を委員とする場合や設置期間が長い機関については、改善が困難である。	政策課
推進方策9 協働事業の評価・検証の仕組の整備																												
目標(1)評価・検証の手法の検討・整備																												
31	評価結果等の共有及び改善に向けた取組の実施	協働推進課	全課	市民と市とが実施した協働事業について、市民と市それぞれ立場から、整備した評価・検証の手法に基づき点検・評価を行い、課題や改善点を共有するとともに、具体的な改善に取り組みます。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	協働事業等評価制度に基づき評価を実施し、評価結果を事業実施者に共有した。また、庁内で報告するとともに、市ホームページにおいて公表した。	評価結果に基づく評価対象事業について後追い調査を実施するなど、改善の取組を把握する必要がある。			計画通りに進んでいない	協働事業等評価制度に基づき評価を実施し、評価結果を事業実施者に共有した。また、庁内で報告するとともに、市ホームページにおいて公表した。	実績調査等の実施時期の見直し等により、評価対象事業の後追い調査について、事実への反映等タイミングを含めて検討する必要があったため、未実施となった。	評価結果の公表とあわせ、評価対象事業について後追い調査を実施し、改善の取組を把握する。			計画通りに進んでいる	評価結果の公表とあわせ、評価対象事業について後追い調査を実施し、改善の取組の把握を行った。	引き続き、評価結果の公表とあわせ、評価対象事業について後追い調査を実施し、改善の取組を把握する。	計画通りに進んでいる	協働事業等評価制度に基づき評価を実施し、評価結果を事業実施者に共有した。また、庁内で報告するとともに、市ホームページにおいて公表した。	引き続き、評価結果の公表とあわせ、評価対象事業について後追い調査を実施し、改善の取組を把握する。	協働推進係			
市民協働推進会議(仮称)の設置																												
推進方策10 協働の取組を効果的に進めるための行動計画の策定及び条例の整備																												
目標(1)市民協働推進行動計画の進行管理の実施																												
32	市民協働推進行動計画の見直し	協働推進課		市民協働を効果的に推進するため、社会経済情勢の変化等を踏まえ、市民協働推進行動計画の見直しを行います。			検討							完了(目標を達成)	平成27年度、28年度の取組内容の進捗を踏まえ、市民協働推進会議での検討及び、パブリックコメントを実施し、平成30年度から33年度までの期間の計画を策定した。 【冊子】300冊												協働推進係	
33	協働に関する事例等の調査・研究の実施	協働推進課		市民協働の効果的な推進に向けて、他自治体における先進的な協働事例等について、調査・研究を行います。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	他市との情報交換や研修等を通じ、先進的な協働事例等について、調査・研究を実施した。	継続して協働に関する事例等について、調査・研究を行う。			計画通りに進んでいる	他市との情報交換や研修等を通じ、先進的な協働事例等について、調査・研究を実施した。	継続して協働に関する事例等について、調査・研究を行う。			計画通りに進んでいる	他市との情報交換や研修等を通じ、先進的な協働事例等について、調査・研究を実施した。	継続して協働に関する事例等について、調査・研究を行う。	計画通りに進んでいる	他市との情報交換や研修等を通じ、先進的な協働事例等について、調査・研究を実施した。	継続して協働に関する事例等について、調査・研究を行う。	計画通りに進んでいる	他市との情報交換や研修等を通じ、先進的な協働事例等について、調査・研究を実施した。	継続して協働に関する事例等について、調査・研究を行う。	協働推進係	
34	協働に関する各種アンケート調査等の実施	協働推進課		市民協働の進捗状況や成果等を把握するとともに、効果的な推進方策を検討し、市民協働推進行動計画の見直し等に反映するため、適宜、市民や各活動団体、職員等に対し、アンケート調査を実施します。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	「市政世論調査」や、庁内の「協働事業に関する実績調査」、「職員意識調査」等、各種調査を実施した。	回答しやすいよう、適宜調査票の見直しを行うとともに、継続して各種アンケート調査を実施する。			計画通りに進んでいる	「市政世論調査」や、庁内の「協働事業に関する実績調査」、「職員意識調査」等、各種調査を実施した。	回答しやすいよう、適宜調査票の見直しを行うとともに、継続して各種アンケート調査を実施する。			計画通りに進んでいる	「市政世論調査」や、庁内の「協働事業に関する実績調査」、「職員意識調査」等、各種調査を実施した。	回答しやすいよう、適宜調査票の見直しを行うとともに、継続して各種アンケート調査を実施する。	計画通りに進んでいる	「市政世論調査」や、庁内の「協働事業に関する実績調査」、「職員意識調査」等、各種調査を実施した。	回答しやすいよう、適宜調査票の見直しを行うとともに、継続して各種アンケート調査を実施する。	計画通りに進んでいる	「市政世論調査」や、庁内の「協働事業に関する実績調査」、「職員意識調査」等、各種調査を実施した。	回答しやすいよう、適宜調査票の見直しを行うとともに、継続して各種アンケート調査を実施する。	協働推進係	
市民協働推進会議の設置																												
目標(2)市民協働の推進に関する条例の制定に係る調査・研究の実施																												
35	市民協働の推進に関する条例の制定に係る調査・研究の実施	協働推進課		条例を制定している先行事例について調査を行うとともに、その要否を含め、条例制定の課題等について研究します。	検討結果に応じ対応	検討結果に応じ対応	検討結果に応じ対応	計画通りに進んでいる	全国813市のホームページから、市民協働の推進に関する条例の制定状況について調査を実施した。	市民協働推進会議において、検討を行う。			計画通りに進んでいる	先進事例である、長崎市への視察を実施したほか、協働に関する条例制定市93市のうち、人口規模が同程度の自治体9市に調査を実施した。	引き続き、市民協働推進会議において、検討を行う。			計画通りに進んでいる	市民協働推進会議において、検討を行い、後期基本計画における各施策の取組の協働による成果をふまえて、改めて判断することにした。	後期基本計画における各施策の取組の協働による成果や他市事例に注視していく。	計画通りに進んでいる	市民協働推進会議において、検討を行い、後期基本計画における各施策の取組の協働による成果をふまえて、改めて判断することにした。	後期基本計画における各施策の取組の協働による成果や他市事例に注視していく。	協働推進係				